

AOI NEWS LETTER

vol.07

<https://e-aoi.net>

ここから、
ずっと



地下を掘削するリスクとも隣り合わせ！高い施工レベルを求められた工事。

2023年3月、2年2か月の工期を終え、水戸市消防局南消防署が場所も新たに生まれ変わりました。はしご車・消防車と同じ色の赤いひさが目を引く、地上3階、鉄筋コンクリート造の建物です。地域の災害時の要として、水戸市の公共施設では3軒目の免震構造となっています。また、大変限られた敷地面積で隣地(水戸南高校)との高低差がある傾斜地での建設のため、地中の土を抑える擁壁(山留壁)と建物の基礎の一部が一体となる工夫もなされています。

今回は敷地の制限と併せ、タイトな工期で、現場では施工管理者達が終始、作業の効率化に努めました。中でも、2年2か月の工期中、1年間という多くの時間を要した基礎工事では、地盤の掘削を行う際、周辺地盤が崩れないようにする山留工事(多数の親杭を打ち、横矢板を入れて土留の壁をつくる)、アースアンカーの施工(ワイヤーで山留壁を地中に留める)、土圧を抑える切梁の施工(鉄骨水平部材で山留壁の変形を抑える)、作業場確保のための構台架設設置、そして免震装置設置など、高い施工技術が必要とされました。

この他にも、各フロアの大空間実現のためのプレストレストコンクリート(PC)工法、20tを超える特殊車両駐車スペースのための半たわみ性舗装など、弊社で初めて取り組む工法も多岐に渡りました。

弊社にとっては、ステップアップするきっかけとなる工事となり、ここからまた、AOIが地域の皆さまと自分達の施工に向き合う時間がスタートしました。



建築現場をささえるプロワザ！

アオイのパートナーにお話を伺いました！

水戸市消防局南消防署の工事にも参加

株式会社銚田クレーン工事さん

重量物の荷上げ・荷下ろしは おまかせください！

弊社は主に建設機械であるクレーン車を操作して荷物を吊り上げての移動、高低差のある位置へ運搬物を運ぶ仕事を行っています。葵建設工業さんとは長きに渡りお付き合いさせていただいており、水戸市消防局南消防署の移転新築工事にもご協力させていただきました。こちらの現場では作業中の安全はもちろんのこと、時間によっては交通渋滞を招くことがある為、現場の施工管理者の方達と連携を取り合い、現場への入退場が円滑に済むよう配慮しました。

昨年、名誉ある「瑞宝単光章」を受賞させていただいた工事部長をはじめ、弊社にはベテランオペレーターも多数在籍しており、日々安心安全に努めて作業しております。最近では「日頃どんな乗り物で作業しているのか」「重機のカッコよさ」を皆様に知っていただくべく、クレーン体験教室として積極的にイベントに参加するなど、地域の皆様との交流も楽しませていただいております。今後とも安全第一に、たくさんの作業に携わって参りたいと思います。



現場から。施工管理者の目線

南消防署 作業所長
小森 孝洋
インタビュー

初めての工法でも足踏みできない。 最後までやり遂げる覚悟が必要な仕事。

南消防署の工事では、作業スペースが非常に限られていたので、複数工種を同時進行する際は常に優先順位をつける選択を迫られていたと感じます。同時に、工種ごとに担当者を振り分けていたため、同じスペースで複数工事が絡む場合は、きちんと施工担当者間でコミュニケーションが取れているか、随時、気を配りました。2年2か月の工期中、工事序盤から基礎工事に1年かかったことで、工事終盤まで時間との闘いでもありましたが、振り返ってみると、常に先に先に意識を向けて工事に向き合っていました。

また、今回、基礎工事での難所として、四方の山留・アースアンカー・切梁の施工、そして構台架設・免震装置の設置などがあり、一気に掘削を進められない場面にも遭遇しました。そして、建屋工事ではPC工法、正面外構工事の半たわみ性舗装など、自分自身も初めての工法が多く、一緒に現場をつくりあげている協力会社さんの他工事での経験が助けとなりました。私たちに経験がない工法の施工をする際は、協力会社さんと事前に現場を確認し打合せを重ね、乗り込み(着手)のタイミングを見計らうと共に、作業環境(足場・重機等)の整備をし、作業効率を上げる取り組みをしました。初めての工法に取り組む際はいつも、この仕事が他の場所で「試せない」仕事であることを痛感します。さらに、工期も迫る工事終盤は、限られたスペースで複数の協力会社さんの作業が同時進行で円滑に進むよう、作業・搬入出スペースの確保にも尽力しました。

施工計画段階から工事全体のアプローチと敷地の使い方については、何度も打合せを重ね、これが一番効率的だと判断したアプローチを選択し現場に入り、工事がスタートした後は、そのアプローチの効率をいかに上げていかに注力しました。今回の現場では、自分達の選択を信じてやり抜く覚悟も強く求められていたと感じています。



水戸市消防本部南消防署移転改築工事

設計監理 | 株式会社桜設計事務所 施工 | 葵・要・大内 特定建設工事共同企業体
工期 | 2020/12/23~2023/2/28 構造/規模 | 鉄筋コンクリート造・3階建て 免震構造
建築面積 | 780.80 m² 延床面積 | 1,967.14 m²



YouTubeの実績紹介動画でも水戸南消防署を紹介中! >

水戸とアオイ

水戸市民会館で安全大会を開催。合言葉は「ご安全に!」

8月1日に、弊社の2023年度安全大会を水戸市民会館・大会議室で開催しました。常に危険と隣り合わせで、他の産業に比べて事故が起こるリスクが高い建設業界では、毎年7月の全国安全週間前後に全国のゼネコン各社が安全大会を開催しています。現場を一緒につくり上げる協力会社にご参加いただき、そこで現場の安全対策の促進と維持への取り組みを呼びかけています。弊社の安全大会にも今年も100名以上の協力会社の皆さまに出席いただきました。より安全で健康的・効率的に働ける職場環境づくりは、就業者の定着はもちろん、建築に情熱をもった新しい人材の獲得にもつながり、弊社はもとより業界全体の大切な課題となっています。



壇上で挨拶とスローガン唱和を終えた新入社員

編集後記

昨年7月に社長が交代して早1年。新社長になって初めての新入社員が4月に入社し、あっという間に半年が経過。会社近くの新市民会館もオープンしMitoriO地区にがやかになり、コロナ禍の閉塞感からの解放感も感じます。この半年、新入社員や指導役の20~30代の社員達、そして社長と話す機会も増え、日々、対話の難しさを感じています。そんな中で、このレター作成のためのインタビュー。施工管理者の苦悩を聴くたびに、それを文章で伝えることの難しさを相変わらず実感。水戸南消防署の施工の様子、彼らが施工に打ち込む姿は、YouTubeのお仕事紹介動画でもお届け中です。是非そちらもご覧ください。

広報担当 岡本寛美

インターンシップ・新卒採用募集中!

<https://e-aoi.net>

株式会社 要建設工業
茨城県水戸市五軒町 2-2-7 TEL | 029-225-1144



[AOI HP]



[AOI YouTube]



[AOI Instagram]